

ヨトウガ

発生条件

成虫は年2回発生する(4月と9月)。幼虫は第1回が5~6月、第2回が9~10月に発生し、第2回が特に多い。



被害

ふ化直後の幼虫は葉裏から表皮を残して食害する。幼虫が大きくなると、葉脈のみを残して激しく食害する。



幼虫

3齢までは葉裏に群がって食害する。その後分散し摂食量も増える。生長点付近に食入加害することもある。



成虫

体長約20mm。昼間は葉陰などで静止し、夜に飛来・産卵する。雌は約1,200個の卵を数十~数百粒ずつ産み付ける。